

問い合わせ対応・予兆分析・アラート支援

人事・労務担当者の 「見えないコスト」を生成AIが解決する リシテア×生成AI



このようなお悩みはありませんか？

調査によると、人事担当者の**49～70%**が**毎日3回以上、本来の業務を中断**という実態が明らかになっています。

出典：SmartHR株式会社「バックオフィスを疲弊させる『名もなき業務』実態調査」（2026年4月）https://smarthr.jp/release/20260407_research/



問い合わせ対応に追われる

- 同じ質問が繰り返される
- 担当者不在時に対応が止まる



リスクの兆候に気づけない

- 長時間労働や不調の予兆を把握しづらい
- 退職リスクの早期発見が難しい



制度違反を未然に防げない

- 残業超過や年休取得日数の不足を後から把握する
- 勤怠の不備を見逃しやすい



勤怠調整や法改正対応の負担は増え続ける

これらの課題は、多くの企業の**人事・労務現場で見られる共通の悩み**です。



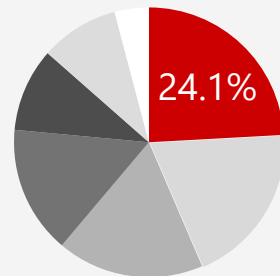
法改正・少子化で加速する業務負荷

人事・労務担当者の負荷は、法改正・少子化で想像以上に大きくなっています。

数字でみる人事・労務担当者の業務負荷

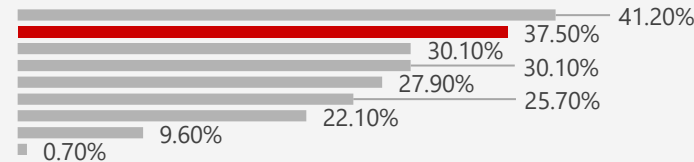
法改正対応で増える管理業務

Q：介護・育児休業法の改正に合わせた対応で、最も負担が大きいと感じる業務はどれですか？



勤怠管理の調整（出退勤時間・労働時間の管理）	24.1%
給与計算の複雑化（変動する勤務時間・手当の調整）	19.4%
社内制度の整備・就業規則の作成	17.6%
勤怠管理や給与計算のシステム対応	15.3%
社内周知や推進、社員からの問い合わせ対応	10.0%
法改正に関する情報収集・対応方針の策定	9.4%

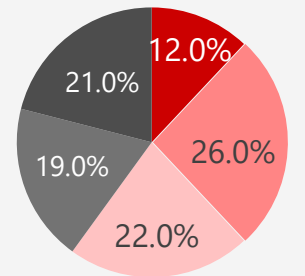
Q：法対応を進めるにあたり、どのような懸念や課題を感じていますか？(複数選択可)



給与計算が複雑になる	41.2%
勤怠管理が煩雑になる	37.5%
就業規則や社内制度の整備に時間がかかる	30.1%
具体的な対応方法が分からない、ノウハウがない	30.1%
育児、介護のための休暇取得で人手不足が見込まれる	27.9%
制度の周知や社内浸透に時間がかかる	25.7%
業務の性質上、テレワークやフレックスタイム制の導入が難しい	22.1%
システムの対応が不十分で手作業が増える	9.6%

業務上のやり取りに費やす合計時間

Q：問い合わせ・督促等に1日あたりの合計でどのくらい時間を費やしていますか（繁忙期）



4時間以上	12%
2時間以上	26%
1時間以上	22%
30分以上	19%
30分未満	21%

担当者の約6割が「1日1時間以上」

見過ごされる「見えないコスト」

問題が表面化してから対応する運用では、大きな損失やリスクにつながる可能性があります。

企業経営に影響を与える3つのコスト

01 **メンタルヘルス不調による
休職者1人あたりの損失コスト** **422万円**
(試算値)

メンタルヘルス不調で社員1人が6か月休職した場合、年収600万円の社員1人あたり企業が負担するコスト。

出典：男女共同参画会議仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する専門調査会「企業が仕事と生活の調和に取り組むメリット」
<https://www.gender.go.jp/kaigi/senmon/wlb/pdf/gaiyo.pdf>

02 **こころの不調による
日本全体の経済損失** **7.6兆円**

日本のGDPの1.1%に相当。不調を抱えながら出勤し、パフォーマンスが低下している社員による損失が大半を占める。

出典：産業医科大学「メンタル不調の影響、年間7.6兆円の生産性損失に」
<https://www.uoeh-u.ac.jp/University/Corporation/press/20250613.html>

03 **勤怠申告との差異によって
発生する隠れ残業リスク** **月10時間**

1日わずか30分の乖離でも、月20日勤務で「月10時間の隠れ残業」となる。

出典：パーソルビジネスプロセスデザイン株式会社「労働時間の実態に関する調査データ」
<https://www.persol-bd.co.jp/service/product/s-miteras/column/questionnaire/>

人的資本経営では、健康・エンゲージメント・休職率などの人的資本情報の開示が重視されています。
メンタルヘルス対策は、健康経営の推進だけでなく、企業価値を支える重要な経営課題です。

損失コストの 試算例

年間のメンタルヘルス不調によるコスト：従業員数 × 年間休職発生率 × 1人あたり休職コスト = 企業の年間損失額

【従業員500人】【年間休職発生率が3%（15人）】【1人あたり休職コスト：422万円の場合】▶ $500人 \times 3\% \times 422万円 = 6,330万円$

対応の遅延や見落としが日常化すると、現場負担の増加だけでなく、法令違反リスクや人材流出にもつながりやすくなる

追われる・気づけない・防げない

人事・労務現場で発生するさまざまな課題は、「人が確認する運用」の限界から生じています。

現場で発生している3つの課題

課題：01 追われる

問い合わせ対応で本来の業務が進まない

同じ質問への回答を繰り返す

FAQ更新が追いつかない

業務が頻繁に中断される



課題：02 気づけない

リスクが表面化するまで把握できない

長時間労働の兆候

メンタル不調の予兆

退職リスク



課題：03 防げない

制度違反やルール逸脱を未然に防げない

残業超過

年休取得不足

不適切な勤怠登録



これらの課題は、人事担当者の経験や目視確認に依存した運用から生じている

課題の解消にAIを活用していく

勤怠データをリアルタイムに活用することで、人事担当者は問題発生後の対応から予防へ転換できます。
調査によると、大手企業の75%がすでに生成AI環境を整備済み（前年比ほぼ倍増）、人事業務での活用意向は約9割に達したと報告されています。出典：WHI調査「人事業務での生成AI利用に関するアンケート」2025 <https://www.works-hi.co.jp/businesscolumn/report-ai-202602>

現場で発生している3つの課題

課題：01 追われる

課題：02 気づけない

課題：03 防げない

AIの活用

リスクを予防できる状態へ転換

問い合わせ自動化

チャットボットが即時回答、
担当者は本来の業務に集中



リスク検知

勤怠データからAIが予兆を自動検知、
早期フォロー



早期検知・アラート

入力時点でAIがアラートし、
法令違反リスクの低減を支援



期待される 効果

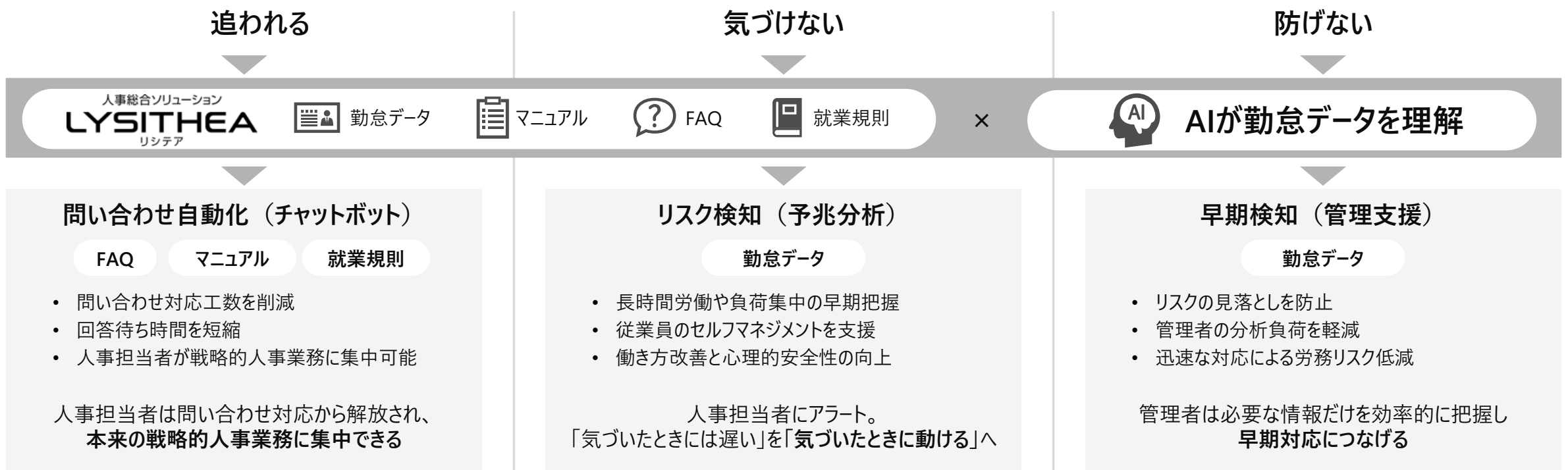
- ・担当者の業務負荷軽減
- ・法令違反リスクの低減

- ・問題の早期発見と早期対応
- ・戦略的人事業務へのシフト

「追われる」「気づけない」「防げない」を、リシテア×生成AIで解決

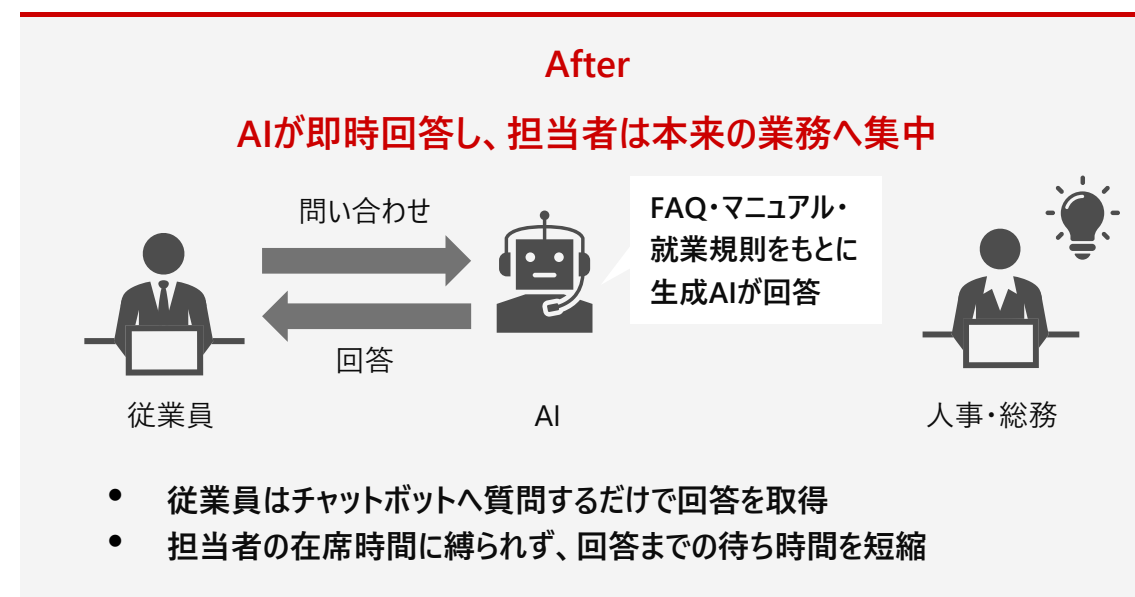
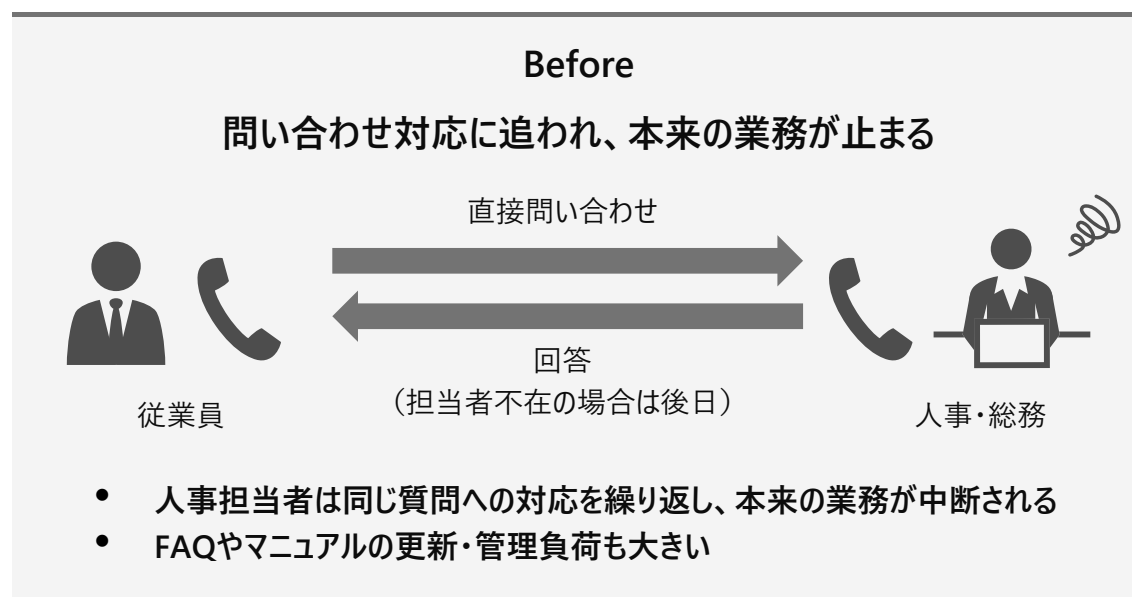
個別に対応・検知・確認していた業務を、リシテアの勤怠データを起点に生成AIが支援します。

「リシテア×生成AI」で実現できること



AIが問い合わせ対応を自動化し、人事担当者の定型業務負荷を軽減

よくある定型的な問い合わせをAIが即時回答、担当者の負担を軽減し本来の業務に集中できる環境を実現します。



リシア自社での
活用実績



勤務入力に関する問い合わせ
対応件数を約30%削減

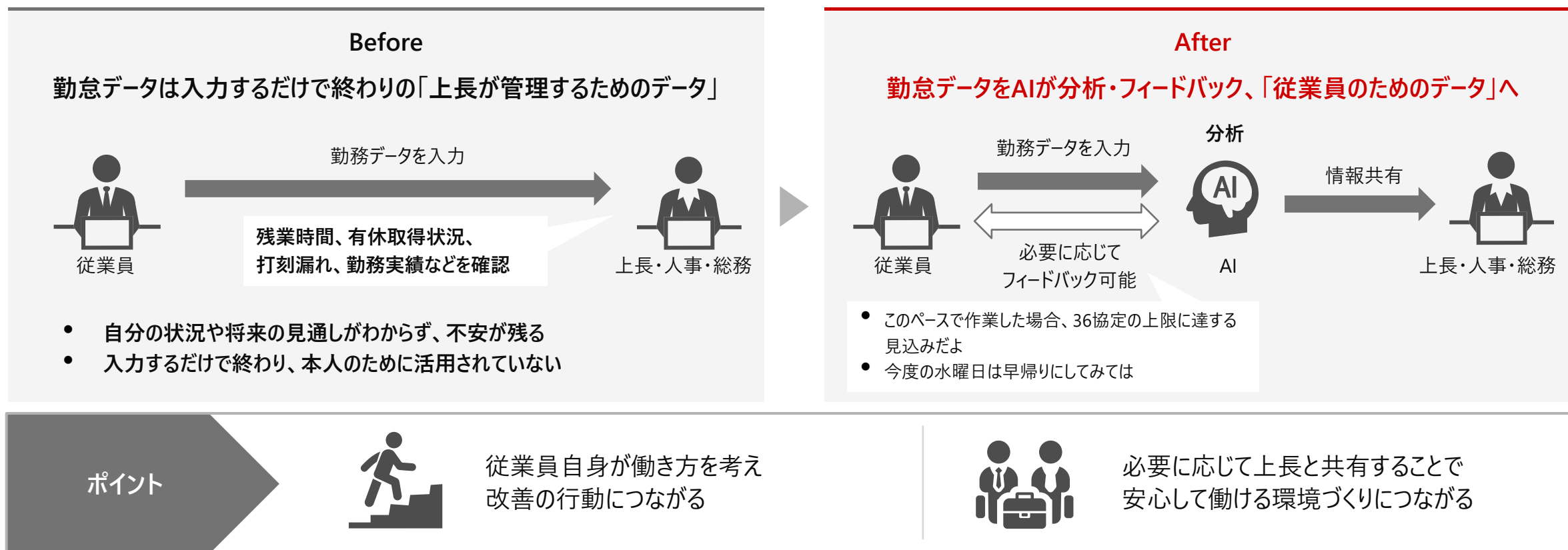
※（グループ会社事例／期間：2024年9月～11月／対象：従業員6,000人）



担当者が本来の戦略的人事業務に
集中できる環境を実現

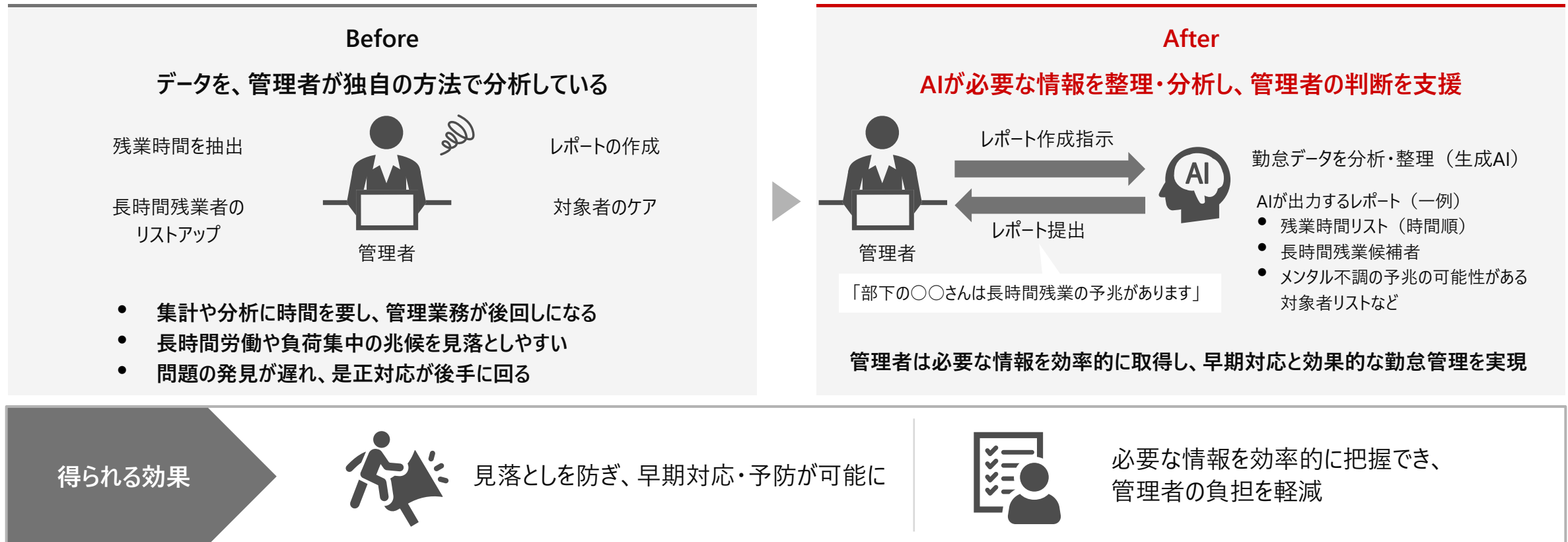
勤怠データを「上長が管理するためのデータ」から「従業員のため」に

AIが勤怠データを分析し、働き方の見通しやアドバイスをフィードバックします。



AIが「見るべきポイント」をピンポイントでサジェスト

管理者は必要な情報をすぐに把握でき、早期対応と効果的な管理を実現します。



幅広い業種・規模で採用いただいていた導入実績

豊富な知見と伴走支援により、導入検討から運用定着まで安心して取り組める環境をご提供します。

人事・労務領域に特化した専門性

人事業務に精通した
プロフェッショナルが伴走



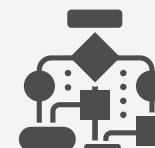
30年以上培った
人事・労務管理の知見を活用※

要件定義から運用定着まで
一貫支援

複雑な制度や運用にも
柔軟に対応

段階的に進める安心設計

PoV→PoC→PoBの
ステップで検証



初めから全社展開せず、小規模から開始

効果を確認しながら段階的に拡大

導入リスクを抑えながら着実に推進

導入後も続く安心のサポート

法改正や制度変更にも
継続対応



人事・労務領域に求められる
継続的な制度対応を支援

運用開始後も改善活動をサポート

長期的な人事DX推進を伴走支援

※2025年3月末時点の実績です。

人事・労務業務の未来を支える リシテア×生成AI

リシテア×生成AIは、人事業務を「対応型」から「予防型」へ進化させる新たな選択肢です。

リシテア×生成AIで実現する3つの価値



追われる業務からの解放

問い合わせ対応の自動化

- FAQ・就業規則をAIが即時回答
- 担当者の対応工数を削減
- 本来の人事業務へ集中



リスクの早期発見

勤怠データの予兆分析

- 長時間労働の兆候を検知
- メンタル不調リスクを可視化
- 離職リスクの早期把握



制度違反の未然防止

AIによるアラート支援

- 残業超過を事前に通知
- 年休取得不足を早期把握
- 違反リスクを低減

人事業務を「管理するための業務」から「従業員と組織の成長を支える業務」へ
リシテア×生成AIが、人事・労務DXの次の一步を支援します。

必要なのは、リシテアの勤怠データを起点に生成AIが「検知・対話・分析」する仕組み

人事担当者の負担は、法改正・少子化・就業者不足を背景に、構造的に増え続けています。
本資料で整理した3つの課題「追われる」「気づけない」「防げない」は、個別の努力だけでは解決できません。
求められているのは、リシテアの勤怠データを起点に、生成AIが「検知・対話・分析」を担う仕組みへの転換です。
リシテア／就業管理・シフト管理オプションに関するご相談や詳細資料のご要望は、
下記Webよりお気軽にお問い合わせください。

Web

<https://www.hitachi-solutions-create.co.jp/solution/lysitheia/>

本資料でご紹介した内容の詳細は、Webサイトにてご確認ください。また、Webサイトからは資料請求およびお問い合わせフォームをご利用いただけます。



お問い合わせ情報について

ご相談、ご依頼いただいた内容は回答などのため、当社の関連会社（日立ソリューションズグループ会社）および株式会社日立製作所に提供（共同利用含む）することがあります。

取り扱いには十分注意し、お客さまの許可なく他の目的に使用することはありません。

・リシテアは、株式会社日立ソリューションズの登録商標です。

HITACHI